

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和5年2月13日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 大島令子

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>介護保険料の見直しについて</b></p> <p>65歳以上の介護保険料の基礎となる基準額や保険料率は3年ごとに策定する介護保険事業計画で決められる。令和5年度までは第8期介護保険事業計画に明記されており、令和5年度中に策定される次期（第9期）介護保険事業計画で令和6年、7年、8年の保険料が新たに決められる。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 現在の基準額5,345円（年額64,100円）は収入が年金のみの高齢者にとっては負担であるという声をよく聞く。次期の見通しはどうか。</p> <p>(2) 在宅、施設、地域密着型などの介護サービス給付の見通しはどのようなか。</p> <p>(3) 介護保険事業計画第7期（平成30年度～令和2年度）から保険料の所得段階を10段階から13段階とした。介護保険は医療保険と違い応能応益割はなじまないと思うが、所得段階を細分化することで負担の平準化を図れると考える。所得段階の細分化をさらに進めないか。また生活保護受給者などの第1段階から第3段階までの基準額への掛け率を下げることを次期は検討できないか。</p> <p>(4) 本市の介護保険料基準額は尾張東部地域自治体内では、要介護認定率が低いにも関わらず尾張旭市を除いて横並びである。この要因はどこにあると考えているか。</p>	

2	<p><b>保育園について</b></p> <p>(1) 保育園の待機児童数は平成31年38人、令和2年32人、令和3年28人、令和4年0人（いずれも4月1日現在）であった。待機児童が0人になった取り組みと要因は何か。</p> <p>(2) 年度末に向けて保育園に入所できるか調整すると思うが、令和5年4月1日の待機児童の見通しは何人か。</p> <p>(3) 令和6年度に民設民営保育園を2園開設して定員が約200人増えることとなるが、この2園に期待するものは何か。開園に向けて来年度から段階的に育休退園を廃止できないか。</p>	
3	<p><b>有機農業の推進について</b></p> <p>国は有機農業の推進に関する基本方針を公表し、この施策の中で有機農産物安定供給体制構築事業としてオーガニックビジネス実践拠点に応じて、学校給食を含む販路確保に向けた取組支援を行うとしている。基本方針の目標年度は2030年度であるが、2025年を目途に中間評価も行われる。「長久手農楽校は有機農法を推進するための講義や実技を行ってきた」と、市は令和3年6月議会のなかじま和代議員の一般質問で答弁している。市内には農楽校の卒業生もいることから給食用有機米の生産者を発掘して年に1、2回からでも有機米による米飯給食が実施できるように取り組みを進めないか。学校給食というはじめから売り先が見える形で行うことにより、地域内消費ができて生産者も取り組みやすいのではと思うがどうか。</p>	
4	<p><b>市長の公約「日本一の福祉のまち」はどこまで実現できたのか</b></p> <p>市長が就任時に掲げた目標は「日本一の福祉のまち」であり、ゴジカラ村の発想と智恵を市政に生かすことである。ゴジカラ村の発想は高齢者施設運営から生まれたと聞いているが、この取り組みをもとに3つのフラッグを掲げて実践してきた3期12年目を迎え、このフラッグはどこまで市民に理解され浸透してきたと考えているか伺う。</p>	